

七高SSH通信

～七尾高校理数科だより～

H26・10・21
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成26年度 第7号

SSHサイエンスツアー

10月6日（月）～8日（水）にかけて、サイエンスツアーを実施しました。サイエンスツアーは、「本物に触れ、一流の研究者に学ぶ」というスローガンのもと、最先端科学の現状を理解し、科学に対する研究意欲を高めることを目的として、理数科1年生を対象に、毎年この時期に2泊3日の日程で実施している行事です。

研修内容は物理・化学・生物・地学と幅広い分野にわたっており、カミオカンデの巨大な実験装置や本物のロケットなどを実際に見、普段、学校では学ぶことのできない事柄について、専門家の方からお話を聞くことで学びました。

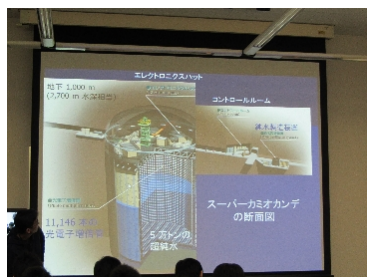
18日

岐阜県飛騨市にある、スーパーカミオカンデ（東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設）を訪問しました。東大の先生から講義を受けた後、実際に地下実験施設の見学をしました。

この施設は、原則として個別の見学はできず、SSHに指定されている高校など、限られた人のみ見学することができる貴重な施設です。

生徒たちは事前学習で学んだことなどをもとに、活発に質問をしていました。

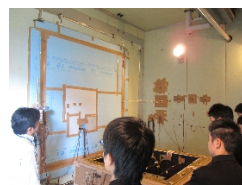
スーパーカミオカンデ



28日

午前中は、つくば市内にある物質・材料研究機構、筑波実験植物園、地図と測量の科学館、つくば建築試験研究センター、高エネルギー加速器研究機構（KEK）の5ヶ所の研究施設で班別グループ研修を行いました。午後からは全員で筑波宇宙センター（JAXA）と、地質標本館に行きました。JAXAでは、ロケットや衛星などの見学をした後、宇宙飛行士の訓練施設でお話を聞きました。地質標本館では、たくさんの鉱物や化石をもとに説明を聞きました。

つくば研究学園都市



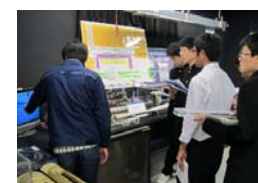
つくば建築研究センター



物質・材料研究機構



筑波実験植物園



高エネルギー加速器研究機構



地図と測量の科学館



感想

- スーパーカミオカンデでは、わずかな光を得るため、大規模な実験を行っている研究に感動した。ニュートリノはまだ多くの謎を持っている。
- 自分の知らなかったことを多く学べたし、日本や世界の技術の向上についてもしっかり知ることができた。
- 筑波実験植物園では、絶滅した植物が多いことを知り、生物多様性がいかに重要であることを学んだ。
- 宇宙ステーションでの地上 400Kmでの生活は、最先端の科学のもとに成り立っていることが分かり、すごいことだと思った。
- 近代技術の発展が著しいと思った。これからどんな技術が開発されていくのか楽しみだ。
- 地図と測定の科学館では、昔の空中写真と現在の空中写真を比べることができておもしろかった。
- ただ暮らしやすいのではなく、環境に優しい建物が増えることが大切だと思った。
- 日本の技術が世界をリードしていることはすごいと思った。
- 火山活動や地震を予測する技術をより向上させることで、災害による被害を減少できるようになればいいなと思った。

筑波宇宙センター (JAXA)



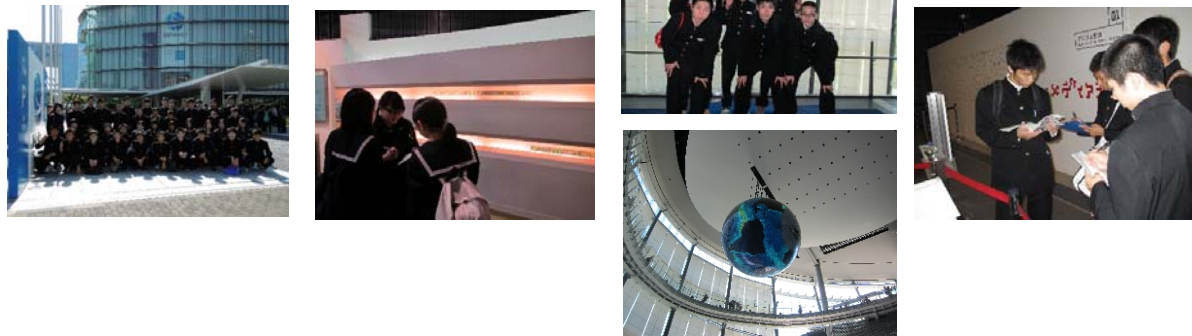
地質標本館



3日目

日本科学未来館は、科学に関する様々な分野の最新情報を分かりやすく提供し、直に体験したり、触れたりできる科学博物館です。ここでは、見学するだけでなく、展示についてインタープリテーションを行いました。

日本科学未来館



皆既月食観察

10月8日(水)に皆既月食がありました。18時30分までは天体観測室を全校生徒に公開し、それからはSSC天文班が観測を行いました。



チェック

今回見逃した人は、2015年4月4日(土) 21時頃に皆既月食を観測できます。